

平成30年度 学校だより (第10号)

**木立見** こだちみ

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～



平成30年10月3日発行

発行者 出口 伸雄

足利市立西中学校 62-2230

平成30年度学校課題：自他を尊重し、互いに高め合う生徒の育成（3年目）

10月に入りました。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…とても気候の良い季節です。朝夕は寒くなりましたので、体調の管理をしっかり行い、家族でスポーツをしたり読書をしたりして、有意義に過ごしてください。



## 全国学力・学習状況調査(結果)から

西中生(3年生)の結果がわかりましたので概要をお知らせします。結果を分析し、西中学校全体の学習指導に生かしたいと思えます。(○印…特に正答率が高い問題、▼印…特に正答率が低い問題)

国語A問題(主として知識):全国と同程度の中で下位

○:「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する。

▼:『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する。

国語B問題(主として活用):全国と同程度の中で下位

○:話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く。

▼:登場人物についての説明として適切なものを選択する。

数学A問題(主として知識):全国より低い中で中位

○:歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ。

▼:大小2つのさいころを同時に投げる時、和が8になる確率を求める。

数学B問題(主として活用):全国より低い中で上位

○:通常料金をaとした時の団体料金の10人分が、通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する。

▼:全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が、曲「F」が選ばれやすいことの理由を確率を用いて説明する。

理科:全国と同程度の中で下位

○:アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する問題解決の技能を活用できる。

▼:「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面で、刺激と反応についての知識を身に付けている。

生徒質問紙

○:学校の規則を守っている。

いじめはどんな理由があってもいけないことであると思う。

毎日決まった時刻に寝ている。起きている。

▼:家で学校の宿題をやっている。

平日(月から金)、2時間以上家で勉強をしている。

地域の行事に参加している。



**創立60年記念文化祭一般公開～10月6日(土)**

【お願い】撮影した写真等は、ホームページやSNS等での公開はしないようにお願いします!

# 地区新人大会～良き伝統を受け継ぐ！

※印は県大会出場

- ◆野球（白鷲中との合同チーム）：1回戦惜敗
- ◆ソフトボール：準優勝
- ◆バレーボール：※優勝
- ◆サッカー：3位
- ◆バスケットボール男（白鷲中との合同チーム）：3位
- ◆バスケットボール女：※準優勝
- ◆ソフトテニス男：団体（※優勝）、1チーム（※準優勝）、1チーム（※3位）、1チーム（ベスト16）
- ◆ソフトテニス女：団体（3位）
- ◆バドミントン男：団体（5位）、ダブルス1チーム（※3位）
- ◆バドミントン女：団体（予選惜敗）、シングルス1名（※優勝）
- ◆卓球男：団体（※優勝）、シングルス1名（※優勝）、シングルス3名（ベスト16）
- ◆剣道女：個人1名（※3位）、個人1名（※ベスト8）
- ◆陸上男：1年100m～1名（8位）、2年100m～1名（※2位）、1名（3位）、1名（4位）、共通男子4×100mR（※優勝）、1年走幅跳～1名（3位）、1名（5位）、2年走幅跳～1名（※1位）、1名（※2位）、1名（3位）、1名（5位）、1名（6位）、1名（7位）
- ◆陸上女：1年100m～1名（※1位）、1名（3位）、2年100m～1名（※1位）、1名（5位）、1名（7位）、2年100mH～1名（※1位）、共通女子4×100mR（※優勝）、1年走幅跳～1名（4位）、1名（6位）、2年走幅跳～1名（※2位）、1名（5位）、1名（6位）
- ◆水泳男：50m自由形～1名（※6位）、1名（※9位）、100m自由形～1名（7位）、100m平泳ぎ～1名（※4位）
- ◆水泳女：女子総合～優勝、50m自由形～1名（※5位）、1名（7位）、100m自由形～1名（※2位）、1名（※4位）、200m自由形～1名（※1位）、400m自由形～1名（※1位）、800m自由形～1名（※1位）、100m平泳ぎ～1名（5位）、200m個人ドレー～1名（※1位）、400m個人ドレー～1名（※2位）、400mフリーR（※1位）、400mメドレーR（※1位）



◆子育てのモットー…このモットーは、いつでもどこでも誰にでも当てはまります。①「すぐ手を出すな、口を出すな」大事なのは、「すぐ」ということです。私たちが「すぐ」やってしまいたいと思うときは、だいたい自分の衝動や情動にかられているときです。②「ちょっと待って」ちょっと待つだけでいいのです。③「よく見、よく聞き、よく考えよ」です。「よく見る」ということは子どもの様子をよく見るということです。よく聞くということは、子どもの声を「よく聞く」ということです。「よく考えよ」というのは、子どもの心を思いやるだけではなく、さらに自分の心をもよく突き止めておくことがとても大事だということです。自分の子どもに対する関わりを、あるがままに、肯定も否定もしないで、しっかり見つめることが大事なのです。そうすれば、どうしたらよいかという知恵は自然にお母さんの内側から湧いてきます。そういう自主的で創造的な子育てをしてほしいものです。◆やる気のある子にするには…親が子どものすることに対して否定的な評価ばかりしていると、子どもは自分自身の存在価値を肯定できなくなります。子どもは次第に、〈自分はダメなんだ〉と思い込んでいくようになります。例えば、子どもは、〈私は頭が悪いんだ〉と思い込むと、〈先生の話聞いたって、どうせわかりっこない〉と考えるようになります。そんな場合、授業でいくらわかりやすく教えても、聞かざるもりになれないのです。わからないに決まっていると思い込んでいる子にわかりやすく説明してもどうにもならないのです。まずは、子ども自身が自分を肯定的に評価できるようにする必要があります。【先生のためのセルフ・カウンセリング 入門（渡辺康隆 著）より】

